

L O O K

HOLDINGS INC.

株主通信

第60期 中間報告書 2021.1.1 ▶ 2021.6.30

株式会社 ルックホールディングス

証券コード：8029

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

ここに、当社グループの第60期第2四半期(2021年1月1日から2021年6月30日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後当社グループは「お客さま第一主義」の基本理念のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

多田 和洋

当第2四半期連結累計期間の業績の概況について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進んでいるものの、感染の再拡大による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などにより、依然として不透明な状況で推移しました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、3月の緊急事態宣言解除後は一部回復の兆しがみられたものの、4月以降も断続的に緊急事態宣言が再発出され、店舗の臨時休業や時短営業、外出自粛による来店客数の減少が長期化したことにより厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、経営環境の変化に対応すべく、EC事業のさらなる強化や重点ブランドの新規出店を推進し進めるなど売上高の増加に努めるとともに、不採算ブランドの廃止や不採算店舗の撤退、仕入の抑制や経費の削減など、徹底した効率経営を推進してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は194億6千3百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益は8億円(前年同期は6億8千4百万円の営業損失)、経常利益は9億8千8百万円(前年同期は5億4千4百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8千2百万円(前年同期は7億2千5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

■アパレル関連事業

「日本」につきましては、EC事業において、店舗とECとの在庫連携機能を引き続き強化するなど、お客様の利便性向上に取り組んだ結果、EC事業の売上高は前年同期より増加いたしました。店舗においては、臨時休業等の影響により厳しい環境が続きましたが、主力ブランドである「イル ビゾンテ」「マリメッコ」の新規出店に加え、「マリメッコ」のブランド創立70周年を記念した商品の販売や、「A.P.C.」でのコラボレーション商品の販売など、効果的な販促活動を実施したことにより、売上高は堅調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は99億9千2百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は3億2千7百万円(前年同期は1億1千1百万円の営業損失)となりました。

売上高



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失(△)※



※前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年度通期についてはその内容を反映しております。

「韓国」につきましては、株式会社アイディールックにおいては、インポートブランドの販売が好調に推移し、自社ECサイト「I.D.LOOKモール」の認知度向上のためのプロモーションを強化した結果、売上高が増加いたしました。株式会社アイディージャイにおいても、来店客数が回復し、売上高が増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は83億6千8百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益は5億8千5百万円(前年同期比792.1%増)となりました。

「欧州」につきましては、イタリアやフランスでは新型コロナウイルスに対するワクチン接種が進んだことにより直営店舗の営業は再開しましたが、来店客数は未だ回復しておらず厳しい状況が続く一方、主力である卸売事業は引き続き堅調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19億4百万円(前年同期比33.8%増)、営業利益は1億4百万円(前年同期比35.6%減)となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)において、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう行動制限が一部緩和されたことにより、来店客数は徐々に回復してはいるものの、店舗での売上高は依然厳しい状況が続いております。米国においては、直営店舗の通常営業を再開いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億7千8百万円(前年同期比9.0%減)、営業損失は9千2百万円(前年同期は5千9百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は204億4千4百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益は9億2千4百万円(前年同期は5千7百万円の営業利益)となりました。

■生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、国内グループ会社への売上高は前年同期を上回りましたが、グループ外へのOEM事業の取扱高が減少した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億3千万円(前年同期比1.5%減)、営業損失は4千万円(前年同期は7千2百万円の営業損失)となりました。

■物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エール・ロジスティクスにおいて、主にEC物流の取扱高が増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億3千8百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は4千5百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

■飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、緊急事態宣言の発出にともなう時短営業の実施により、店舗での売上高は減少いたしました。宅配サービス等の売上高は伸長いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2千6百万円(前年同期比46.9%増)、営業損失は1千2百万円(前年同期は1千6百万円の営業損失)となりました。

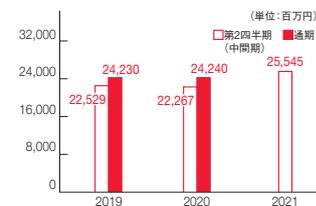
通期の見通しについて

2021年12月期通期の業績見通しにつきましては、第2四半期連結累計期間の業績が予想を上回りましたが、7月以降、新型コロナウイルス感染症が国内外で再拡大しており、国内では緊急事態宣言が再発出されるなど不安定な経済状況の中、当社グループの事業に与える影響を想定し、売上高400億円、営業利益16億円、経常利益17億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億円を予想しております。

1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)※



純資産※

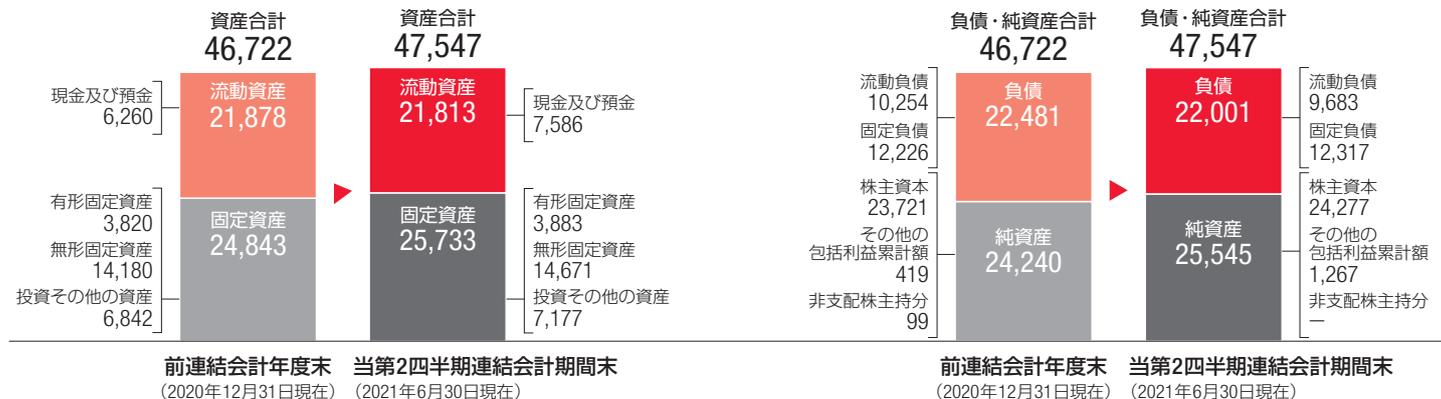


※前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年度通期についてはその内容を反映しております。

FINANCIAL STATEMENTS 四半期連結財務諸表

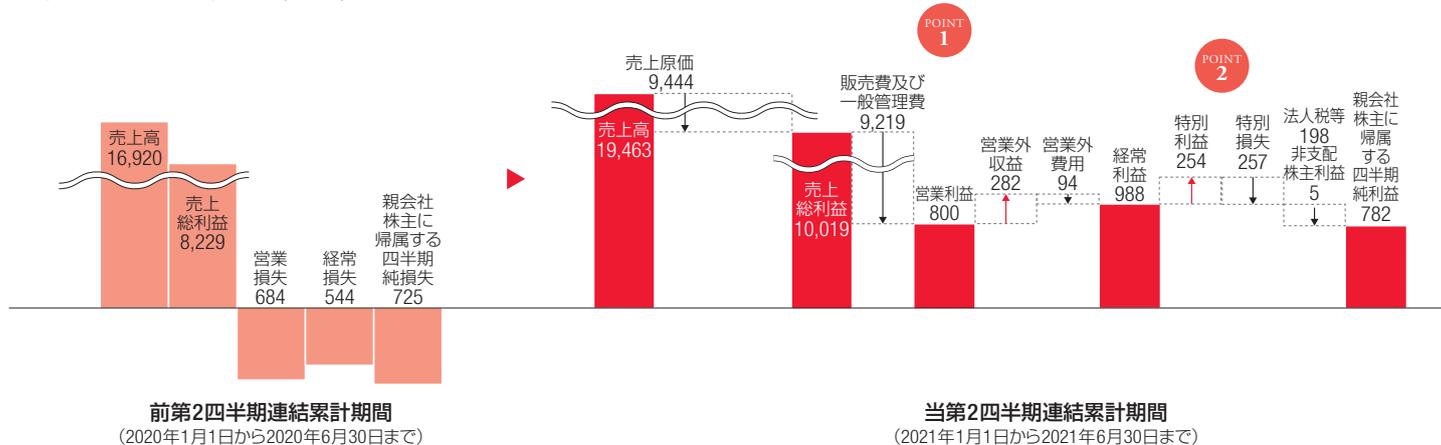
四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



POINT 1 営業利益
 当第2四半期連結累計期間において、断続的に緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、当社グループは経営環境の変化に対応すべく、EC事業のさらなる強化と重点ブランドの新規出店を推し進めるなど売上高の増加に努めるとともに、不採算ブランドの廃止や不採算店舗の撤退、仕入の抑制や経費の削減など、徹底した効率経営を推し進めた結果、前年同期に比べ大幅に収益改善をいたしました。

POINT 2 特別利益、特別損失
 新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金、大規模施設等協力金及び感染拡大防止協力金等、246百万円を助成金収入として特別利益に計上しております。
 また、店舗の臨時休業に伴い発生した固定費等(人件費、賃借料、減価償却費等)250百万円を臨時休業等による損失として特別損失に計上しております。

CORPORATE DATA …… 会社概要

会社の概要

2021年6月30日現在

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億8,943万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	1,249名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

アパレル関連事業

日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージョイ
欧州及び その他海外	ルック(H.K.) Ltd. 洛格(上海)商貿有限公司 Il Bisonte S.p.A.

生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス
飲食事業	株式会社ファッションブルフーズ・インターナショナル

役員構成

代表取締役社長	多田 和洋	常勤監査役	高山 英二
常務取締役	澁谷 治男	常勤監査役	宇野澤博文
取締役	斉藤 正明	監査役	山崎 暢久
取締役	福地 和彦	監査役	服部 滋多
取締役	井上 和則		

- (注) 1. 取締役 福地和彦および井上和則の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山崎暢久および服部滋多の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

STOCK INFORMATION …… 株式状況

株式情報

2021年6月30日現在

■発行可能株式総数	24,000,000株
■発行済株式総数	7,718,813株
■株主数	4,014名

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.look-holdings.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

株主様アンケートご協力をお願い



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

【所要時間5分程度】

2021年10月15日(金)締切

特典

ご回答いただいた方の中から抽選で、200名様に「**QUOカード(500円分)**」を進呈いたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
(2021年11月下旬頃発送予定)

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスください。



スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードから直接アンケート画面へアクセスいただけます。

※機種により使用できない場合がございます。

【個人情報の取り扱いに関して】

本アンケートにより得られた個人情報については、当社グループの商品・サービス・イベントに関するご案内、株主権行使や株式取引に関するご案内、その他株主様向けの広報活動充実のために使用させていただく場合がございます。その他、個人情報に関する取扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

kabu@takara-print.co.jp

平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号